

亀山市事業仕分け成果 《H19年度、20年度実施→H20年度、21年度予算反映状況》

→予算反映年度

仕分け年度	事業名 (担当室)	事業概要	判定	仕分け理由	市の方針		予算／削減額(千円)			
					事業の方向性	取り組み、予算への反映状況	H19予算	H20予算	H21予算	削減額
19	政策形成研究 旅費支給事業 (企画経営室)	職員が市の将来のまちづくりについて、その基礎となる政策の調査研究を行うための旅費を支給する。	内容規模見直し	<ul style="list-style-type: none"> ・政策課題に対し必要に応じて調整研究を行う。調整費は都度、上限なし、支給してはと思う。 ・自主研究グループ助成と統合、政策形成が旅費だけでなく自主グループ助成もすべき。むしろ自主グループ助成の事業を廃止しこの事業に含めてはどうか。 	内容規模見直し	事業の結果及び成果を庁内掲示板、広報紙等により公開する。 自主研究グループ助成規程との調整を図り、支給要件を市の政策研究に関する事項に限定し、重複した申請は除くこととした。 (自主研究グループ助成規程第2条のうち、主に同規程の第4号に該当する事項を対象とする。) 【予算反映状況】 自主研究グループ助成規程(人材育成室)との調整を図り、支給要件を市の政策研究に関する事項に限定し、重複した申請は除くこととした。【H20】 平成20年度と同様の取組みを行うこととした。【H21】	500	400	400	100

仕 分 け 年 度	事業名 (担当室)	事業概要	判定	仕分け理由	市の方針		予算／削減額(千円)			
					事業の方向性	取り組み、予算への反映状況	H19予算	H20予算	H21予算	削減額
19	コピー機・印刷 機借上業務 (法制執務室)	コピー機借上及び保守事 務(契約事務・機器の運 用)を一括して行ってい る。	内容規模見直し	コピー機台数の整理、削減 の対応で可能→これにより 事務量を減らせる。管理業 務を多角的に考えることが 可能。(ex:枚数管理など) 業務の所管替え、類似事業 との整理はすぐにでも対応 すべき。	内容規模見直し	機器の台数を極端に減らしたり することにより職員の事務処理 の妨げにならないように配慮し つつ、同種の業務を所管してい る部署と機器の設置計画の協議 を行い、同時に所管する部署等 も検討する。 また、コピーカードの使用など を通じ、枚数を減らすよう周知す ることを検討する。 【予算反映状況】 カラーコピー機、簡易印刷機各 1台で2台あったものを1台にし た。また、管理経費が安価なも のを採用した結果、カラーコピー 機保守委託料として924千円 (115,500円/月×8ヶ月)の實質 的な削減効果が得られた。 【H20】 平成20年度実績のOA用紙使 用量増加に伴う要求額増【H21】	4,900	3,550	4,707	924

仕分け年度	事業名 (担当室)	事業概要	判定	仕分け理由	市の方針		予算／削減額(千円)			
					事業の方向性	取り組み、予算への反映状況	H19予算	H20予算	H21予算	削減額
19	観光情報発信事業(産業・観光振興室)	観光パンフレットの作成やインターネット等の活用、観光案内ボランティアガイドの育成等により観光情報の提供を行い、より多くの方々に、亀山市を訪れていただく。	手法見直し	広告料をとる。観光協会と観光ボランティアを強化すべき。	民間	平成20年度から、観光協会へ観光パンフレット作成等の業務を譲渡する。(業務経費を補助金として交付。) 【予算反映状況】 観光協会へ観光パンフレット作成等の業務を譲渡し、業務経費を補助金として交付することとし、事業全体を見直した。(直接人件費の削減コストは平成20年度実績と比較して算出する予定)【H20】	1,200	100	100	1,100
19	亀山市防火協会事業(予防室)	火災予防思想の普及徹底、火災予防の対策に関する調査研究及び発表、消防施設等の強化拡充並びに防火教育の実施、危険物取扱技術の向上並びに「危険物」に係る災害の防止、その他本会の目的達成に必要な事項を行う。	内容規模見直し	防火協会活動が年々会費納入のみの活動になりつつあり、本当の意味での普及啓発が必要なので消防団、自治会との連携を持ちながら事務所だけでなく地域での防火活動の普及に取り組まれない。	内容規模見直し	徴収した会費から事業費等の捻出が可能であることから補助金の減額または縮小の方向で調整し、予算要求を行う。他の防火協力団体との重複業務等の見直しについては、各団体との調整を図ることが必要であるため早急に臨時役員会を開催する。その中で今後の業務処理の効率化等についても検討を行う。 【予算反映状況】 補助金を段階的に縮小していくため、平成20年度は20万円から18万円に減額した。【H20】 平成21年度は、更に2万円減額し16万円とした。【H21】	200	180	160	40

仕分け年度	事業名 (担当室)	事業概要	判定	仕分け理由	市の方針		予算／削減額(千円)			
					事業の方向性	取り組み、予算への反映状況	H19予算	H20予算	H21予算	削減額
19	私立高等学校 振興助成事業 (教育総務室)	亀山市に隣接する市町村に所在する私立高等学校に教育活動に必要な備品等の購入費の一部について予算の範囲内で助成金を交付する。	不要	時代に合わず必要性を感じられない。当時は公立が全て受け入れられない等背景があったが、現在は私立高校を助成する理由が見当たらない。	廃止(不要)	私立高等学校振興助成事業の今年度での廃止 【予算反映状況】 廃止した。(当該削減コストには、その事業に係る正規職員の直接人件費38.6万円を含む1,061千円)【H20】	1,061	0	0	1,061
19	優良職員等表彰 (広報秘書室)	毎年関係各部に調査をし、該当者を具申してもらう。市政功労者表彰は、5年ごとに実施し、次回、平成22年に、市制施行5周年式典で表彰式を行う。優良職員表彰は、関係各部から具申のあった職員等を表彰審査委員会で審査後、毎年、市制施行記念日に表彰式を行う。市政功労者表彰・優良職員表彰ともに表彰状と記念品を授与する。	内容規模見直し	市民表彰の機会を増やした方がよい。特別昇給ありきの職員表彰であってはならない。市民のモチベーションをあげる手法を研究すべき。職員の表彰はあってもいいが、記念品はいらないのでは。事業名称を市民表彰メインであげるべき。	内容規模見直し	優良職員表彰事業は、職員のレベルアップを図るために有効と考え実施していくが、記念品の授与については、個人及び部・室を越えたグループには授与するが、部・室の表彰については、授与しないこととする。25年勤続表彰については、人事考課を含めて今後人材育成室と協議のうえ検討していくこととする。 【予算反映状況】 記念品の減少により、報償費100千円を減額。総削減額には人件費分55千円を含む【H21】	250	250	150	155

仕分け年度	事業名 (担当室)	事業概要	判定	仕分け理由	市の方針		予算／削減額(千円)			
					事業の方向性	取り組み、予算への反映状況	H19予算	H20予算	H21予算	削減額
19	健康診断事業 (人材育成室)	定期健康診断、特定業務健康診断、がん検診、VDT健康診断及び医療、救急、廃棄物処理業務従事者にB型肝炎ワクチン接種を行っている。	内容規模見直し	メンタル面の健康指導をさらに充実させてほしい。検診後の個別指導&フォローを充実させていただきたい。(この事業に関する事業ということで)	内容規模見直し	健康指導の充実については、産業医の見解を踏まえたうえで安全衛生委員会に諮り、健康診断事業に反映させる取組とする。これを受けて、健康診断事業の対象者の見直しを行い予算削減を行った。 【予算反映状況】 特定業務職員健康診断の対象者を平成20年度実施分から見直しを行った。平成21年度予算については、見直し後の内容で要求を行うため、484千円の削減となった。【H21】	8,100	7,400	6,916	484
19	公園管理運営事業 (まちづくり推進室)	亀山公園、東野公園、西野公園などの総合・地区公園のほか73街区公園の管理を(財)亀山市地域社会振興会に指定管理委託している。また、緑地その他施設は亀山市シルバー人材センター等に業務委託により管理しているが、本年度より地元管理の促進のためアダプトプログラム制度の普及に努めている。	手法見直し	◇アダプトプログラムを進めて地域、企業、住民が管理するという認識がどれ位広がるかが鍵になると思いますので企業や市民団体との連携しての啓蒙活動など、市民への周知の部分で民間に委託するなど様々な面から少しずつ民間に移していく努力が必要なのではと思います。	現行どおり	指定管理者委託については、21年度に公募制により民間委託に向けて作業を進めます。 アダプトプログラムは、市民参画公園再整備事業、公園愛称公募などの事業と併せて、その都度地域に対する啓発活動を進める。また、公園内に里親募集のサイン看板を設置するなどし、公園利用者への直接的な啓発活動に努めます。 【予算反映状況】 公募による指定管理者制度への移行により予算ベースでH20年度65,000千円→H21年度62,800千円の減額となった。【H21】	65,000	65,000	62,800	2,200

仕分け年度	事業名 (担当室)	事業概要	判定	仕分け理由	市の方針		予算／削減額(千円)			
					事業の方向性	取り組み、予算への反映状況	H19予算	H20予算	H21予算	削減額
19	亀山市文化会館管理運営事業 (生涯学習室)	亀山市文化会館・中央コミュニティセンターの管理及び自主事業に代表される文化振興にかかる業務を指定管理者に委託する。	手法見直し	委託先については公募で。市の出先ではない方がより運営の効率化が出来る。(今の振興会、今の文化会館の歴史から) 指定管理者制度については、管理者がより努力するように委託する。(収入、支出)真の指定管理制度に。	手法見直し	今回の指定管理者見直しの際、指定管理者の公募を図る。 【予算反映状況】 文化会館及び中央コミュニティセンター指定管理者の見直しに伴い、平成21年度から25年度までの新しい指定管理者を公募。利用料金制度等の導入により、応募者(優先交渉権者)から提案された指定管理料金額は、平成20年度までの予算額より削減することができた。【H21】	92,250	91,050	86,500	5,750
19	関総合スポーツ公園管理運営事業 (スポーツ振興室)	亀山市関B&G海洋センターの管理運営、B&G財団・三重県B&G連協等に関すること	手法見直し	きちんと利用者から適切な利用料を取るべき。他市と一度比較してみてもどうか。市民減免もすべきではない。(もしくは障害者などの一部)NO74、75他のスポーツ施設と一括して指定管理を検討したらいいと思う。利用者増があるべき。	手法見直し	平成21年度から指定管理者制度を導入する。 【予算反映状況】 平成21年度から25年度までの新しい指定管理者を公募。利用料金制度等の導入により、応募者(優先交渉権者)から提案された指定管理料金額は、平成20年度までの予算額より削減することができた。【H21】	93,235	90,273	75,900	17,335

仕分け年度	事業名 (担当室)	事業概要	判定	仕分け理由	市の方針		予算／削減額(千円)			
					事業の方向性	取り組み、予算への反映状況	H19予算	H20予算	H21予算	削減額
19	前納報奨金交付事業	前納報奨金は、第1期の納期の末日に当該税金を納付したものとみなして算定した納期前に納付した税額の100分の0.3に第1期の納期の末日に当該税金を納付したものとみなして算定した納期前に係る月数を乗じて得た額の報奨金を交付する。	不要	なくてもいい。収入の高い人にメリット。それよりも収納対策に活用すべき。	廃止(不要)	平成21年度条例改正を議会へ上程し、可決されれば平成22年度より事業を廃止する。 また、平成21年度中、市民に対して平成22年度から廃止の旨の広報活動を行なう。 (約15,000千円削減予定。) 【予算反映状況】 H22年度廃止の方針(予定)	14,381	15,000	15,000	15,000
20	マイクロバス運転業務 (財務室)	亀山市庁用車両の管理及び使用に関する規程に従って、各室等からの依頼による運行を行っている。	民間委託化	バス運行の今後のあり方。バスを市が直営でやる必要は無い。	民間委託化	民間委託等については、調査を行ったところ、委託料が高額(嘱託職員の賃金より3割程度高)であったため、当面、嘱託職員での対応とする。 【予算反映状況】 正規職員から嘱託職員への対応とした。(予算額については、H20年度は正規職員の平均給与額を、H21年度は嘱託職員の要求額を計上)【H21】		4,498	1,959	2,539

仕分け年度	事業名 (担当室)	事業概要	判定	仕分け理由	市の方針		予算／削減額(千円)			
					事業の方向性	取り組み、予算への反映状況	H19予算	H20予算	H21予算	削減額
20	霊柩車配車、祭壇貸出事業 (戸籍市民室)	① 市斎場の利用者に霊柩車を配車(利用者使用料:1回5千円)、斎場の管理委託業者に運行管理委託している。 ② 祭壇組立撤去・貸出業務を実施(利用者使用料:1回2万5千円、旧関町内1回5千円直貸出もあり、委託料1回3万円)	民営化	民間がすでに事業として行っているもので民間事業として成立している。火葬を自治事務としてやるしかないが、それ以外は行政がやる必要がない。	民営化	現在の市営斎場は、平成21年3月からの新斎場供用開始により廃止する予定である。これに伴い、祭壇の貸出及び霊柩車の運行業務については民間事業として成立していることを理由として市の事業としては廃止し、民間に移行する。 【予算反映状況】 祭壇の貸出及び霊柩車の運行業務を市の事業としては廃止した。【H21】		1,778	0	1,778
20	リバイバル映画会、テレホン童話事業 (図書館)	映画の上映により、新規利用者の獲得と、映画の基になった作品を読む契機としている。また、毎月のテレホン童話サービス、テレホン童話の作品募集と優秀作品の審査を行っている。	不要	・映画会については、利用者増加に年間を通じて効果をもたらす手段となっていない。敬老事業としては、別観点での評価もありうるが。 ・テレホン童話は、ニーズが少ないため、廃止しても社会的実害がない。「くりの木」発行事業として新規事業化がよい。(担当者の考えどおり)	廃止(不要)	映画会については21年度より取りやめる。テレホン童話については21年12月分まで既に準備ができていたので21年度は継続し、22年度以降の扱いについては関係団体(亀山絵本と童話の会)と協議し決定すると共にホームページを活用しての音声のサービスを検討する。なお、冊子「くりの木」の作成と作品の公募は継続する。 【予算反映状況】 映画会を実施しないこととした。【H21】		268	18	250